

越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大流 12 高岡市産業振興部 地域振興交流課内
TEL.0766-64-1426 FAX.0766-64-0566 <http://sugegasa.web.fc2.com>

福岡小学校5年生が、菅笠について学びにきてくれました。村本会長が、菅笠の歴史や大切さなどについて講義しました。(関連記事P3)

新年のご挨拶

越中福岡の菅笠製作技術保存会
会長 村本 孝義

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

未だに新型コロナウイルスの終息が見込めず、次々と変異株種を誕生させ、私達をさらなる不安へと、その上ウクライナへのロシアの侵攻が始まり、従来の国際秩序がくずれ、円安、エネルギー危機、食糧危機、諸物価の高騰が起こり、日常生活を苦境に追い込んでいます。本年も大変な変動の環境に追い込まれるのではとの懸念が予測されますが、良い年になります様希望を持ちたいと考えています。

菅笠保存会の役員が新たに選出され、役員一同より一層責務に励み、皆様の負託に応えられる様、努力致す所存です。改めて会員諸子の御支援、御協力お願い申し上げます。

この様な中でも菅笠の技術保存の講座を実施し、積極的に参加頂きました。又、楽な姿勢で菅笠づくりに取り組む作業台を製作致しました。高齢者への体の負担を少なくする作業（笠骨づくり、笠縫い等の）へと改善出来たと思います。

福岡小学校5年生（バケツ菅草栽培は中止されている）が、福岡町の伝統的工芸品菅笠の成り立ち、歴史について勉強したいと申し出があり講義を実施しました。5年生90数名の輝くひとみを見ながらお話をさせて頂きましたことはすばらしく、うれしいことでした。この中から将来菅笠に興味をもって地域の伝統を守り育ててくれる子が出てくれればなあと思った次第です。今後、先生方の努力と御理解に期待したいです。

本年も、菅笠づくり講座、菅田づくり体験など実施致しますので、皆様方の積極的な参加と御支援、御協力お願い致します。

皆様方の御健康と御多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

笠骨職人育成事業

冬季シーズンには最低気温が5℃を切る過酷な状況の中、J A いなば様より御寄付頂いた石油ストーブを活用して、今年度の笠骨職人育成事業も、講師の中嶋尋之さん宅の納屋をお借りして実施しています。

7月に、初めて中骨の火曲げ加工を習った育成1年目の中居望さん（第7期生）は、微妙な調整を覚えて次に活かしたいと意欲的です。

育成2年目の菊地裕美さん（第5期生）は、竹を粗末にせずに使切る方法を学びました。

中嶋先生からは、「二人とも、笠骨づくりへの熱意の結果がでている。中居さんは丁寧な作り、菊地さんは仕事が早い」と成果報告がありました。



- ・写真A／真夏でも炭火を起こして中骨を曲げています。
- ・写真B／第7期生 中居望さん
- ・写真C／第5期生 菊地裕美さん



令和4年春もツバメが巣を作りにきました！

菅笠づくり後継者育成講座

昨年度は例年の2カ月遅れで開講となった「菅笠づくり育成講座」(高岡市実施)でしたが、今年度は予定通り8月から開講することができました。JAいなば様より空気清浄機を御寄付頂き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして、高岡市福岡支所3階大会議室で学んでいます。

「笠骨づくり講座」は7名の受講生(初受講3名)が、月2~3回(計20回3時間/回)、「笠縫い講座」は10名の受講生(初受講8名)が、月2~4回(計20回6時間/回)受講しています。

講座見学は随時可能です。お気軽にお問い合わせください!(TEL.64-1426)

◆笠骨づくり講座



中山孝志理事と、城山孝顧問が、長い竹を割って削り、組み立てる指導をしています。

- ・初回は竹の扱いに慣れるために、ナタ等を使って竹を割ったり削ったりしました。
- ・写真A/文化庁補助事業を活用して製作した「菅笠製作 作業台」が完成しました。椅子に座っての作業は、腰や膝が楽だと好評です!

◆笠縫い講座



橋本レイ子理事と、茂古沼真知子理事が、菅選りから笠を縫い上げるまでを指導しています。

- ・第1回目は、大野笠(1尺1寸 直径約33cm)の菅選り、シカケ作業を行いました。
- ・初受講生の記録票に「やればやるほど難しい。出来上がりを想像しながらひとつひとつの作業を出来るようになりたい」と意欲的な感想が書かれていました。



10月5日(水)に、「笠骨づくり」と「笠縫い」の合同講座を行い、お互いの講座を見学しました。

「菅笠製作 作業台」が完成しました!

これまでの笠骨づくりは、正座やあぐらをかいて床に「あて板」を置いて作業を行ってきました。講座も同様に、床にブルーシートを敷いて座布団に座るスタイルでした。

笠骨づくり講座の受講生や講師から、腰や膝など身体に負担がかかりにくい「作業台」を要望され、この度、文化庁の補助事業*を活用して、専用の「作業台」を新調しました。11月16日(水)より活用しています。

*令和3年度補正文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)



第1回試作(8/30) 脚の数や形、高さを相談。



第2回試作(9/29) 笠縫いにも活用が可能かも!



笠骨づくり講座(11/16) 椅子に座って作業が出来るので、腰と膝の負担が軽減されています。

笠縫い同窓会「リメンバー笠縫い講座」



毎回大好評のリメンバー笠縫い講座。今年度は菅笠づくり後継者育成講座(高岡市主催)の笠縫い講座との合同で講座を行いました。

前回の講座の要望の「実際に被れる菅笠に挑戦したい!」にお応えして、18名の参加者がヘルメット笠を縫いました。

参加者は笠縫い講座を修了後、越中福岡の菅笠振興会で笠縫い職人として活躍している方が多く、向上心がとても高いです。理想の頭止めにするために、今まで挑戦したことのない技法を松平さんから学んでいました。

11/17(木)・18(金)、12/1(木)・2(金)の4回実施。

講師:松平カズミさん 場所:高岡市福岡支所3階大会議室

リメンバー笠縫い講座は、以前に笠縫い講座を受講又は修了した方を対象に行っています。

羽咋市本町いきいきサロン「菅笠づくり」見学&受講



城山孝顧問が、「菅草の栽培と歴史」について説明しました。



笠骨づくり講座では、浅山笠の製作を見学。



笠縫いマンツーマン講座では、富士笠の製作を見学。



「タオルを巻いて縫っているのは何故ですか？」
「一番難しい工程は何ですか？」
沢山質問してくれました。

10月19日(水)、石川県の「羽咋市本町いきいきサロン」の皆様19名が、越中福岡の菅笠づくりについて学びに来てくださいました。

高岡市福岡支所3階大会議室で行われている、菅笠づくり後継者育成講座「笠骨づくり」を見学しながら、講師の城山孝顧問が「菅草の栽培と歴史」について説明されました。

1階の菅笠展示コーナーでは「笠縫いマンツーマン講座」講師の松平カヅミさんと受講者の堤真知子さんが、笠縫いを実演しました。

「全てが手作業で大変」「職人さんの技術が素晴らしい」「菅笠を作っているところを初めて見た。編んでいると思っていた」と、いきいきサロンの皆様が菅笠の製作技術を知るきっかけになりました。

実際に菅笠を被って撮影をしたり、菅細工を手にとって眺めることで、「これらを記念のお土産にしたい!」と思われたらしく、いきいきサロンの皆様は早速「まちづくり福岡工房」と「雅楽の館」に立ち寄られたとのことです。

菅笠について知りたい!というグループ等がありましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。内容や日程等、柔軟に対応いたします♪

福岡小学校「菅笠づくり」見学&受講

11月17日(木)に村本孝義会長が、福岡小学校5年生(3クラス)に「ものづくり・デザイン科」における菅笠についての講義を、高岡市福岡支所4階会議室で行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1クラスずつの講義となりました。

講義以外の2クラスは1階の菅笠展示コーナーで茂古沼真知子理事による笠縫い実演と、3階大会議室で行われている「菅笠づくり後継者育成講座 笠縫い(高岡市主催)」と「リメンバー笠縫い講座」を見学しました。

笠縫い講座を見学している児童が、一生懸命メモを取っていたので見せてもらうと…

- ・すげを支えるほねは竹!
- ・長いはりでぬっている
- ・すげはみんなこせいの

と書いてありました。菅笠に対する素直な感想にホッコリ。

笠縫いを見学している児童からは、質問がたくさんありました。講師と受講生が一人一人に丁寧に答えていました。

菅笠が完成するまでの工程、苦労や楽しさ、歴史が伝わる良い機会になりました。



菅笠イケメンカルテット♪



1クラス約20分間、菅笠の歴史や、技術継承の大切さ等を説明しました。



笠縫い講座とリメンバー笠縫い講座(合同講座)を見学。